

男女共同参画社会を詠む 川柳

市民の皆さんに募集をしました。この中から優秀作品を掲載しています。

優秀賞

して当然出来て当然家事ふたり

中森順和

健診の結果に妻とウオーキング

三代ひとみ

佳作

女手が男社会に風入れる

藤原啓司

支え合い手とり足とり古稀を過ぎ

柴田恭一

照れないで支え合おうよ男と女

富成千里

単身の夫手料理妻は客

柳瀬里子

糠味噌をまぜる息子のきうり漬け

野仲サチ

選評

大分合同新聞文化部長

可兒敦彦氏

「男女共同参画社会を詠もう」とのテーマがある。テーマがある以上、作句には生活体験ときつちり向き合い、普段より余計に思いを込めて、ありのままの世態を見つめ、見抜く技量がある。機知に富んだ表現も、風刺の利いた言葉も、そんな「生活」を看破する眼（まなこ）から出てくる。

それにしては滑稽（こっけい）味にかけるなあ。生活⇨家庭、生活⇨夫婦の関係のほか、福祉や経済や文化や環境とかかわる、いろんな生活実態や体験・体感が身近にあるのになあ、と今回はすこしばかりポヤキ気味。

何ととっても標語はダメで、残る作品を黙読、音読、また黙読した。優秀賞「して当然出来て当然家事ふたり」は「当然」が押しつけがましくない。子どもが育ち上がって、夫婦二人になった家庭環境かも知れない。ハイハイ、今晚きつと家事しましようにと思わせる「当然」が生きている。「健診の結果に妻とウオーキング」は女性が詠んだからいい。妻のリードする姿が見えて「男女共生川柳」になった。健康管理こそ共生社会の基本なのです。

ご案内
男女共生セミナー
講師派遣事業に
ついて

団体やグループの方が「男女共同参画社会づくり」をテーマにした研修を行う際に、無料で講師派遣の依頼ができます。

【申し込み方法】

研修会開催20日前に、「講師派遣依頼書」を大分県女性青少年課へ提出する。

【お問い合わせ】

TEL536の1111
内線3047

◆原稿募集◆

「男女共同参画社会」へ向けて広く市民の皆様のご意見・主張を募集します。

- ①こんなコーナーや記事があったらいいなと思われる方。教えてください。
- ②情報誌「ドゥマーン」について感想、ご意見を聴かせて下さい。

女性政策推進室
TEL534-6111 内線1075
FAX536-4044